

## 日 本 史

(問 題)

2024年度

〈2024 R06180015 (日本史)〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～14ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～9に答えよ。問1～3については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～9については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

ヤマト政権は大王と豪族による連合政権的な性格を持っていたが、6世紀頃には、氏姓制度によって氏を単位として<sup>a</sup> 地方豪族を掌握し、また部民制によって人々を支配するようになった。

7世紀になると、厩戸王らの政策によって氏族制にかわって官僚制を導入することが目指された。冠位十二階では身分に応じて服や冠など身につけるものの色を定め、儒教的な徳目を表す語である徳・A・B・信・義・智の六種をそれぞれ大小に分けて十二階とした。しかし、王族や大臣は冠位制の対象外とされ、地方豪族に冠位が与えられた形跡もない。さらにその他の中央豪族も、全員冠位が与えられたわけではなかったようである。このように冠位十二階は、一部の豪族を序列化した制度に過ぎなかった。

東アジアにおける国際的な緊張を背景として、645年にはCの変と呼ばれるクーデタが起こり、蘇我氏の本宗家は滅亡した。翌年に出されたとされる改新の詔には公地公民制や地方行政組織に関する記述があるが、これらは『日本書紀』による潤色を含んでいるとされる。改新の詔は、古代国家が目指すべき国家像の「青写真」であったといわれている。

7世紀半ばには「D」がおかれ、地方支配の一元化と官僚制的な支配が目指されるようになった。人々は人為的に戸に編成されたが、そのまとまりを「五十戸」といい、後に「里」と表記されるようになった。しかし、国家が人々を戸籍によって掌握するのは、対外戦争での敗戦を経験した後の670年につくられた庚午年籍をまたねばならなかった。

天武・持統朝では王権が伸長し、地方行政組織として国・D・里制が整備されるとともに、豪族の官僚化が進展するなど、律令国家の建設が進められた。そして701年の大宝令では「D」は「郡」と改められ、国・郡・里制となった。また、冠位制にかわって官位制が成立し、それまでの冠にかわって帯に付けられた飾りの材質や大きさによって、官人の位が表されるようになった。

官位制の下では、個人の位階に応じて官職が与えられた。しかしEの制により、父祖が高位にあった場合に子や孫は、21歳になった時、一定の位階が与えられた。これによって、畿内の上級貴族層は再生産されたのである。また地方支配においても、郡司は律令制以前の旧国造層から任じられたことから、在地支配のあり方も温存された。このような二重構造こそが日本の律令国家の特徴であった。

問1 空欄 C にあてはまる干支を、漢字で記せ。

問2 空欄 D にあてはまる語を、漢字で記せ。

問3 空欄 E にあてはまる語を、漢字で記せ。

問4 下線部 a に関連して、ヤマト政権による人々の支配について述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 大王の娘で、地方豪族のもとに嫁いだ者を采女という。
- イ 地方豪族には主に君や直の姓が与えられた。
- ウ 下戸と大人という身分の別があった。
- エ 大王家の私有民を部曲という。
- オ 品部は国造に率いられて、専門的な職能で奉仕した。

問5 下線部 b について述べた文として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 冠位十二階の制度の下では、功績に応じて冠位が上昇することがあった。
- イ 冠位十二階では、豪族ごとに冠位が割り当てられた。
- ウ 蘇我馬子に対しては、冠位は与えられなかった。
- エ 憲法十七条では、大王と豪族との間の君臣関係について述べられている。
- オ 憲法十七条では、豪族が官僚として大王に仕える上での心構えが説かれている。

問6 空欄 A ・ B にあてはまる語の組み合わせとして、正しいものはどれか。一つ選べ。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| ア A：愛 B：礼 | イ A：愛 B：法 | ウ A：善 B：福 |
| エ A：仁 B：礼 | オ A：善 B：法 | カ A：仁 B：福 |

問7 下線部 c に関連して、7世紀前半の東アジア情勢について述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 隋は百済への遠征によって衰退し、滅亡した。
- イ 倭国の遣唐使が持参した国書は、唐の皇帝煬帝から無礼とされた。
- ウ 高句麗では泉蓋蘇文のもとに、権力が集中した。
- エ 百済は倭国との関係を深めるために、五経博士を派遣して儒教を伝えた。
- オ 九州北部に刀伊が来襲した。

問8 下線部 d の時期の出来事として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 有間皇子が滅ぼされた。
- イ 和同開珎が鑄造された。
- ウ 大海人皇子は難波宮で天武天皇として即位した。
- エ 天武天皇は新都の造営を始めた。
- オ 持統天皇は天武天皇との間に生まれた皇子に譲位した。

問9 文章全体を踏まえて、古代国家の土地と人々の支配について述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア ヤマト政権下では、大王に直轄地はなく、豪族を介して土地と人々を所有していた。
- イ 冠位十二階によって氏族制は打破され、すべての豪族は官僚となった。
- ウ 改新の詔が出されたことで、豪族の私有民は廃止され、すべて国家によって把握された。
- エ 庚午年籍は、壬申の乱を経て防衛体制の整備の一環として作成された。
- オ 日本の律令国家では、官僚制の中に氏族制的な要素が残存していた。

Ⅱ 次の史料は、11世紀に中国に渡った僧・成尋<sup>じょうじん</sup>の日記の一部である（但し、文言の一部を改変している）。これを読んで、問1～7に答えよ。問1～5については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。問6～7については、解答を記述解答用紙に記入せよ。

【史料】

延久四年三月十五日寅の時、肥前国松浦郡壁島<sup>まつら かわしま</sup>において、唐人の船に乗る。一の船頭は曾聚<sup>そう</sup>字は曾三郎、南雄州の人。二の船頭は呉铸<sup>ご</sup>字は呉十郎、福州の人。三の船頭は鄭慶<sup>てい</sup>字は鄭三郎、泉州の人。三人同心して船に乗らしむるなり。船頭等皆、給物<sup>きゅうもつ</sup>を悦ぶ。密々相構うるなり。志与の物は米五十斛・絹百疋・桂<sup>くわい</sup>二重・砂金四小両・（中略）等なり。（中略）辰の時、西風吹くにより船を出さず。壁島の西南浦に在り。（中略）海辺<sup>うらべ</sup>の人來たる時、諸僧皆一室内に隠れ入り、戸を閉じて音を絶つ。この間の辛苦、宣<sup>の</sup>べ尽くすべからず。

（四月）四日巳の時、順風あるに依りて、船を出して西に向かいて行き、帆を上げて船を馳す。（中略）金鷄山<sup>きんけい</sup>、港の口の東畔にあり。人家なし。港より明州<sup>めいしゅう</sup>に入らんとするも、明州に入れず。直ちに西に向かいて越州に赴かしめたり。越州の指南人出で来るに依りて、申の時、船を出して東山の北辺に向かい、同二点、船を止む。人家数十あり。明州の界内なり。（中略）

十九日雨下る。（中略）陳一郎<sup>（陳詠）</sup>、来向す。五度日本に渡る人なり。善く日本語を知れり。申して云く、「陳詠を以て通事となし、**A**に参るべし」といへり。悦びながら約束し了ぬ。（中略）

廿二日、（中略）戌の時、呉船頭・林甘郎・李二郎と相共に出でて市を見ゆ。（中略）市の東西は三十余町、南北は三十余町、一町ごとに大路あり。小路は百千なり。売買言い尽くすべからず。

（五月）十三日、天晴る。卯の時、宿を出ず。（中略）山を行きて五里を過ぎて、未の一点、国清寺の大門の前に至り、橋殿を漸く見る。（中略）寺主を以て引導の人となし、一々焼香礼拝す。感涙極まりなし。

※ページ下部に出典を追記しております。

問1 下線部 a の年にあった出来事として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 記録荘園券契所が設置された。
- イ 法勝寺が完成した。
- ウ 後三年合戦の賞として源義家は院への昇殿を許された。
- エ 宣旨枿が制定された。
- オ 貞仁親王（後の白河天皇）が皇太子となった。

問2 下線部 b に関連して、9世紀末～11世紀初めの日本の対外関係について述べた文として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 菅原道真は、当時の中国の情勢に鑑み、遣唐使の中止を献策した。
- イ 当時の貴族社会では、中国からもたらされた唐物への需要が大きかった。
- ウ 当時の博多では呉越国や宋の商人が活発に來航した。
- エ 朝廷は大宰府を通じて、優先的に貿易品を買い上げた。
- オ 遣唐使の中止により中国の文化的影響が薄れ、国風文化が成立した。

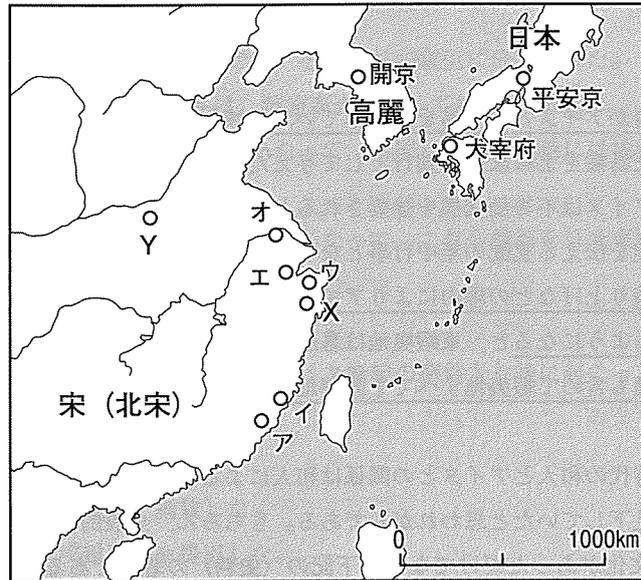
問3 下線部 c に関連して、この時代の服装について述べた文として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 女性は色の異なる桂を何枚も重ね着して美しさを強調した。
- イ 公卿は朝儀に際しては束帯を着用した。
- ウ 女官の正装である女房装束では、桂を12枚重ねて着る決まりであった。
- エ 装束の下着には、本来、庶民の日用着である小袖を着用した。
- オ 衣冠や直衣が宿直の時の服装であったのに対し、束帯は昼装束とも呼ばれた。

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

成尋（校訂：森 公章）. 参天台五臺山記.  
参天台五臺山記 第二. 八木書店, 2023.

問4 下線部 d は後に寧波と呼ばれた都市である。この都市は、【図】中の記号ア～オのどの位置にあるか。



【図】

問5 【史料】から読み取れることとして正しいものをすべて選べ。

- ア 成尋は出航に適した風を待っている間、海辺に暮らす人々を船に招き入れ、交流した。
- イ 成尋は国清寺で住職が多くの人を引率して礼拝しているのを見て、感激した。
- ウ 明州には多くの通りが走る巨大な市場があり、売買が活発に行われていた。
- エ 成尋は船頭に対し、ひそかに用意した米や砂金などで報酬を払い、船に乗せてもらった。
- オ 肥前国松浦郡壁島は、宋をはじめ多くの国へ向かう船で賑わう港町として発展していた。
- カ 成尋の通訳を務めたのは、日宋間を何度も往復し、日本語に堪能な宋人であった。
- キ 成尋は船が明州に着いた後、明州の役人と対面した。

問6 Aには、【図】のXの位置にあり、アジアの多くの人から仏教の聖地として崇められ、日本からも何人も僧が訪れた山の名前が入る。この山の名前は何か。漢字2字で答えよ。

問7 成尋は皇帝の慰留を受けて宋に留まり、【図】のYにある都市で亡くなった。この都市名を漢字2字で答えよ。

Ⅲ 次の文章とそれに関連する史料を読み、問1～11に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～11については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の番号をマークせよ。

江戸時代、蝦夷地は松前藩がアイヌとの交易を独占していた地域として知られている。松前藩はアイヌと交易するための商場を多数設け、その交易権を上級家臣に知行として与えた。その後、商人が運上金を松前藩に上納してアイヌとの交易を担うようになる。アイヌは不等価交換を強要されるとともに、交易の際に行われたオムシャという儀礼は、しだいに松前藩からアイヌに掟を伝える支配の年中行事となっていく。加えて、交易を任された商人はアイヌを雇って漁場経営を行い、運上金の競り上げなどの理由によりアイヌを酷使するようになる。

外国船が日本近海に現れるようになると、東蝦夷地は幕府の直轄地となった。日本とロシアとの関係は一時的に緊張状態となり、幕府は西蝦夷地も含めて蝦夷地すべてを直轄地とした。この間、幕府はアイヌに対して和人の風俗を強制し、同化政策を進めた。

こうした経緯から、江戸時代の和人とアイヌとの関係は和人による支配が貫かれてアイヌには従属が強いられるとともに、和人はみなアイヌを見下していたと思われがちである。もちろん、全般的にそうした傾向は強かったが、アイヌには自律的な生活と独自の文化があっただけでなく、下記の〈史料〉の著者である古川古松軒のように、アイヌと接触したことにより和人社会を相対化する視点を持つ者もいた。古松軒は備中国の薬種業を営む家に生まれた地理学者で、各地を旅行した記録を遺している。下記の〈史料〉は、將軍代替わりにあたって諸国の政治や民の生活を視察する目的で、幕府から1788年に派遣された巡見使に随行する機会を得て、古松軒が記した奥羽・松前の紀行文『東遊雑記』の一部である。古松軒はその後、幕政改革を主導した老中 **A** に召し出され、江戸近郊の地理調査を命じられた。古松軒は必ずしもすべてを平等に見ていたのではないが、彼の著作は、自分とは異なる常識を知ることがそれを相対化する機会になりえることを示している。

#### 〈史料〉

蝦夷地には仏法・神道ということを知らず、山神を祭るには山を祭り、海神を祭るには海にのぞみて何やら唱えることによし。(中略) 病氣してむつかしくなれば、祈禱者のごとく称せる夷来りて、狐の頭の白骨となりしを前後左右に投げて占いをなして、病人の吉凶をつけて、(中略) 謝儀少なき家には、(中略) 日本の米・酒・衣類などを出して、祈禱者のきげんをとるといふことなり。この物語も馬鹿らしきことに聞こゆれども、日本にても上古の風俗はこれらのことにかわりしことなく、今の世にても **B** 家において、亀を焼きて亀卜の占いと称して吉凶をいうことあり。狐の頭にて吉凶をいうも、さして替わりはなきことなるべし。これらのことは上古の風俗残りて、雅にして殊勝の意もあれども、今日本にて 出家・山伏の祈禱せるを見れば、殊勝に思うことは少しもなく、怪しき邪法を奇特と名付けて、埒もなきことをなして、世人をさしてあやまたしむるよりは、蝦夷の祈禱こそたのもしかるべし。日本も上古は蝦夷の地にかわりしことは少しもなく、無為にして太平なりしものなり。今の蝦夷地には領主・地頭というものもなく、無為にしておさまり、直ぐなる風俗はうらやましきことなり。言語なども、チンプンカンにて解せざることなれども、日本人の聞きなれざるゆえにて、日本の言語も中華の人の聞きてはチンプンカンにて、一つとして解することにはあらず、蝦夷の言語しいて笑うことにはあらず。

問1 下線部bの制度を何というか。漢字で記せ。

問2 下線部hのような祈禱は神前や仏前で行われた。明治政府は神仏を融合させた和人の信仰習俗を否定したが、この宗教政策を契機に起こった寺院や仏像の破壊運動を何というか。漢字4字で記せ。

問3 下線部 a に関連して、江戸時代の対外関係についての説明で、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 松前藩によって独占された対アイヌ交易では、アイヌを介して蝦夷錦と呼ばれる中国の絹織物も取り引きされた。
- イ 対馬藩によって独占された対朝鮮貿易では、その利益が家臣に分与された。
- ウ オランダ商人・中国商人との長崎貿易は、特定商人によって独占された。
- エ 薩摩藩によって独占された対琉球貿易にあたって、異国とされた琉球には検地を行わず、石高制による支配の例外とした。
- オ 幕府が朝鮮通信使や琉球使節を迎え入れるにあたって、これら使節を日光東照宮に参詣させるなど、将軍の威厳が異国まで鳴り響いているような演出が行われた。

問4 下線部 c を背景として東蝦夷地で起こった、アイヌ蜂起の事件より後に起こった出来事はどれか。すべて選べ。

- ア 田中丘隅が将軍に「民間省要」を提出した。
- イ シャクシャインが蜂起した。
- ウ 佐野政言が若年寄の田沼意知を刺殺した。
- エ 徳川斉昭が将軍に「戊戌封事」を提出した。
- オ 庄内藩で三方領知替え反対一揆が起こった。

問5 下線部 d にともなって、この時期に開国を唱えた人とその著作の組み合わせで正しいものはどれか。一つ選べ。

- |             |             |              |
|-------------|-------------|--------------|
| ア 本多利明—経世秘策 | イ 本多利明—経済要録 | ウ 会沢安—稽古談    |
| エ 会沢安—新論    | オ 西川如見—西洋紀聞 | カ 西川如見—華夷通商考 |

問6 下線部 e に関する次の出来事を、時系列に正しく配列したものはどれか。一つ選べ。

- x ロシア船が樺太や択捉島を襲撃した。
  - y グローウニン事件が起こった。
  - z 漂流した大黒屋光太夫がロシア船によって帰国した。
- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ア x—y—z | イ x—z—y | ウ y—x—z |
| エ y—z—x | オ z—x—y | カ z—y—x |

問7 下線部 f の後の、日本列島を取り巻く状況についての説明で、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 幕府が倒れるまで蝦夷地は幕府の直轄地であり続け、そのまま明治政府に引き継がれた。
- イ 蝦夷地すべてが幕府の直轄地になったのと同年、琉球は中国との冊封関係を解消した。
- ウ 蝦夷地すべてが幕府の直轄地になったのと同年、朝鮮通信使の来日が終了した。
- エ 北方でのロシアとの緊張に加えて、長崎でもイギリス軍艦が中国船の拿捕をねらって侵入した。
- オ 常陸国大津浜でイギリスの捕鯨船と漁民が交流したように、日本列島の民間人が外国船に接触する機会があった。

問8 下線部 g に関連して、蝦夷地をはじめ日本列島各地の文化についての説明で、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 13世紀以前の蝦夷地では、縄文文化から弥生文化を経て擦文文化が展開した。
- イ アイヌ社会にはユーカラと呼ばれる口承の叙事詩があった。
- ウ 和人社会には、日待・月待など多様な民間信仰や五節句の行事があった。
- エ 蝦夷地で採取された昆布は日本列島各地の料理文化に影響を与えた。
- オ 琉球王府によって編纂された『おもろさうし』は、琉球社会に伝わる古い歌謡を集めたものである。

問9 空欄 **A** の政策でないのはどれか。一つ選べ。

- ア 人足寄場を設置した。                      イ 南鐐二朱銀を鑄造した。                      ウ 出版統制令を発令した。  
エ 学問吟味を実施した。                      オ 林家の私塾で朱子学以外の講義を禁止した。

問10 空欄 **B** には、中世に神道・儒教・仏教の統合を唱えたことで知られる公家の家名が入る。該当するのはどれか。一つ選べ。

- ア 北畠                      イ 近衛                      ウ 土御門                      エ 吉田                      オ 白川

問11 和人とアイヌの社会を比較して述べている〈史料〉に、記されていないことはどれか。一つ選べ。

- ア アイヌ社会で狐の白骨の頭を前後左右に投げて占いをするのと、和人社会で亀を焼いて吉凶を占うのに大きな違いはない。  
イ 和人社会で宗教者が祈禱して人々をだましているのより、アイヌ社会の祈禱の方が頼りになる。  
ウ 和人社会も昔はアイヌ社会と同じように、作為するところがなく太平であった。  
エ アイヌ社会には領主というものはなく、平穏無事で安定しており、ありのままの風俗はうらやましいことである。  
オ アイヌ社会の言語は和人にとって聞き慣れず、わけがわからないので、和人がアイヌ文化を理解することは難しい。

IV 19世紀後半の民衆の思想や政治意識に関わる次の史料1～7を読み、問1～4に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～4については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の番号をマークせよ。なお、設問のない空欄もある。

〈史料1〉

去年檢地租額ノ事ニ就キ、農民ノ服セザル者多シ。然シ威嚴ヲ以テ之ヲ抑ヘル。(中略) 貢額從來ニ比シテ減ゼズ、而シテ山辺ノ諸在ニ於テハ或ハ焉ヲ増ス。シカノミナラズ從來之レ莫キ所ノ税ヲ収ム。

〈史料2〉

人家の軒下にて一人のチョボクレ(注1)が大音張り上げ、彼の **A** が一身を犠牲に供して当時(注2)の將軍に直訴する一齣の慷慨悲憤のところを語り居る折から、通行の巡査が中止解散を命じて直にチョボクレを拘引せられたりとか(後略)。

(注1) チョボクレ：ここでは大道芸人のこと。

(注2) 当時：ここでは江戸時代。

〈史料3〉

**A** は昔の民権家といふより、之を折れば自由を得らるゝなど、誰がいひ初めけん(後略)。

〈史料4〉

**B** 儀、朝敵タルヲ以官位被召上、且從來御預之土地不殘御召上ニ相成、以後ハ天朝御領ト相成候。尤 是迄 **B** 之不仁ニ依リ、百姓共之難義モ不 少義ト被思召、当年半減之年貢ニ被成下候間、天朝之御仁徳厚 相心得可申(後略)。

官軍赤報隊 執事

〈史料5〉

日本国民ハ各自ノ權利自由ヲ達ス可シ、他ヨリ妨害ス可ラス、且國法之ヲ保護ス可シ。  
凡ソ日本国民ハ族籍位階ノ別ヲ問ハス、法律上ノ前ニ對シテハ平等ノ權利タル可シ。  
凡ソ日本国民ハ日本全國ニ於テ同一ノ法典ヲ準用シ、同一ノ保護ヲ受ク可シ、地方及門閥若クハ一人一族ニ与フルノ特權アルコトナシ。

〈史料6〉

- 一 質地証文之儀は、拾ケ年賦にて相返し可申事。
- 一 質物之義は、夏入用之品は不殘只今相返し可申事。

(中略)

右之通、当今世直と唱ひ、村々一円誘引被致、無余義書類差出申候間、此段御届 奉 申 上候。

〈史料7〉

我等ノ目的ハ当 **C** 郡中高利貸ノ為メ、身代限りヲ為ス耳ナラス、目下活路ヲ失シ一家離散ノ場合ニ立至リ、其 慘状見ルニ忍ビサルヨリ、我々有志者申 合、貸金八十ケ年据置、四十ケ年賦延期ヲ債主へ迫リタルモ不聞入ヨリ、債主へ御説諭ノ儀、再度警察署へ願出タルモ、御採用無之ニ付、学校費ヲ省ク為メ、三ケ年間之休校、雑税ノ減少等ヲ強願スルノ目的ナリ、決シテ官司ニ敵スル意ニアラス。

問1 史料1はある事件の背景を述べている。その事件が起こる原因となった政府の政策は何か。漢字で記せ。

問2 史料2・3の空欄 **A** に該当する人物の名前を漢字5字で記せ。

問3 史料4の空欄 **B** に該当する人物はだれか。一つ選べ。

ア 孝明天皇      イ 徳川家茂      ウ 徳川慶喜      エ 松平慶永      オ 明治天皇

問4 史料5～7が作成された時期を、時系列に正しく配列したものはどれか。一つ選べ。

ア 5—6—7                      イ 5—7—6                      ウ 6—5—7  
エ 6—7—5                      オ 7—5—6                      カ 7—6—5

V 次のAとBの文章とそれに関連する史料は、高校の先生と生徒が、日本史の授業をめぐって行った会話と、そこで習った史料である（史料は現代かなづかいに改めた）。これらの文章と史料を読み、問1～11に答えよ。問1～2および問6は、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～5および問7～11については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

A

先生：第一次世界大戦から満州事変に入るまでの授業が終わったところですね。当時の時代をよく示すエピソードを紹介してみよう。評論家でおもだった大宅<sup>おおくや</sup>壯一<sup>そういち</sup>は、1930年に、大手印刷会社の印刷工のエピソードを紹介している。「鑄造しても鑄造しても、すぐにまた不足をつける二つの活字がある。それは「女」と「階」の二字であるが、殊に前者に対する需要は最近急激に増大し」ている。「階」はいうまでもなく「階級」その他の熟語をつくるのに必要な字であるが、「女」という字が使用される場合は、今更説明するまでもないであろう。」

生徒：活字が足りなくなるというのは、どういうことですか。

先生：当時は、印刷の際に、活字を一つずつ拾って組み合わせて文章をつくっていた。今日は、需要が増大していた「階」と「女」の活字を例に、勉強した時代を復習してみよう。まず「階」の字からだ。「階級」という言葉を聞くと、授業からどのようなことを思い出すかな。

生徒：労働運動や農民運動がおきたことや、思想の問題でしょうか。

先生：そうだね。第一次世界大戦以降に本格的にみられた大きな変化だね。労働運動が発展するなかで、1921年には労働組合の組織である **A** がつくられている。「階級」という言葉がはやった時代を象徴する新聞連載があった。1916年9月から12月まで大阪朝日新聞に連載された **B** の「貧乏物語」だ。連載が始まると、「貧乏物語」はたちまちに大反響を呼び起こした。「貧乏物語」の一節を紹介してみよう。

#### 〈史料〉

それ貧乏は社会の大病である。これを根治せんと欲すれば、まず深くその病源を探ることを要す。これ余が特に中編を設け、もっぱらこの問題の攻究にあてんと擬せしゆえんである。(中略)これよりただちに下編に入らんとす。下編は、すなわち貧乏退治の根本策を論ずるをもって主題となすもの、おのずからこの物語の眼目である。

今論を進めんがため、重ねて中編における所論の要旨を約言せんか、すなわちこれを左の数言に摂することを得。いわく、

(一) 現時の経済組織にして維持せらるる限り、

(二) また社会にはなはだしき貧富の懸隔を存する限り、

(三) しかしてまた、富者がその余裕あるに任せて、みだりに各種の奢侈贅<sup>しやし</sup>沢品を購買し需要する限り、貧乏を根絶することは到底望みがない。

今日の社会に貧乏を絶たざるの理由すでにかくのごとし。されば吾人にしてもしこの社会より貧乏を根絶せんと要するならば、これら三個の条件に鑑みてその方策を樹つるのほかはない。

第一に、世の富者がもし自ら進んでいっさいの奢侈贅沢を廃止するに至るならば、貧乏存在の三条件のうちその一を欠くに至るべきが故に、それはたしかに貧乏退治の一策である。

第二に、なんらかの方法をもって貧富の懸隔のはなはだしきを匡正し、社会一般人の所得をして著しき等差なからしむることを得るならば、これまた貧乏存在の一条件を絶つゆえんなるがゆえに、それも貧乏退治の一策となしうる。

第三に、今日の如く各種の生産事業を私人の金もうけ仕事に一任しおくことなく、たとえば軍備または教育のごとく、国家自らこれを担当するに至るならば、現時の経済組織はこれがため著しく改造せらるる訳であるが、これもまた貧乏存在の一条件をなくするゆえんであって、貧乏退治の一策としておのずから人の考え至るところである。

生徒：なぜこの連載がはやったのですか。

先生：連載では、貧乏に関する古今東西の実例がわかりやすく紹介されており、そのなかには近代の短歌や、中世の河原乞食の文章などがある。<sup>a</sup> **B** の人道主義的で情熱あふれる文章も反響を呼んだ一因だったが、時代背景をよく考えることが大事だね。明治以降、「立身出世」や「優勝劣敗」が盛んに言われていたのちに大戦景気がやってきて、船成金などと言われたが、物価が高騰したので、好景気は庶民におよばなかった。そこに「貧乏物語」が登場し、衝撃を与えた。これらのことをふまえて、「貧乏物語」から読み取れることをまとめてみよう。<sup>b</sup>

生徒：わかりました。

先生：授業では、「貧乏物語」が書かれた時代のあと、先に紹介した大宅壮一の文章が書かれた1930年頃になると、時代が大きく変わることについてふれた。第一次世界大戦から1930年頃までの時代の変化を理解するのも大切だね。<sup>c</sup>

生徒：そうですね。

問1 空欄 **A** にあてはまる語句を、漢字で記せ。

問2 空欄 **B** にあてはまる姓名を、漢字で記せ。

問3 下線部 a に該当する短歌はどれか。一つ選べ。

- ア 海恋し 潮の遠鳴り 数えては 少女となりし 父母の家 (与謝野晶子)
- イ 夕焼け空 焦げきはまれる 下にして 氷らんとする 湖の静けさ (鳥木赤彦)
- ウ あるじなき 垣ねまもりて 故郷の 庭に咲きたる 花莖かな (樋口一葉)
- エ はたらけど はたらけど なおわが生活楽にならざり じっと手を見る (石川啄木)
- オ 白鳥は哀しからずや 空の青海のあをにも 染まずただよふ (若山牧水)

問4 下線部 b の理解として、〈史料〉に記されていないものをすべて選べ。

- ア 努力と節約こそが、貧乏を根絶する道である。
- イ 経済的に余裕のある者が贅沢品を購入する限り、貧乏を無くすことはできない。
- ウ 貧富の差が大きい限り、貧乏は無くならない。
- エ 生産事業を国家が担えば、経済組織は大きく改造される。
- オ 貧乏からの脱出は、個人にかかっている。

問5 下線部 c の経緯を説明した、以下の①～④の文章を年代順に並べると、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 衆議院議員総選挙において、はじめて無産政党から当選した。
  - ② 朝鮮では、独立を求める三・一独立運動が全土に広がった。
  - ③ 被差別部落の差別と貧困を解消するために全国水平社が結成された。
  - ④ 富山県の漁村の女性たちは、米価の暴騰に抗議する行動を起こし、米騒動と呼ばれた。
- ア ②→③→①→④                      イ ④→②→③→①                      ウ ④→③→②→①  
エ ③→④→①→②                      オ ④→③→①→②                      カ ③→①→④→②



問10 下線部 f の説明として、正誤の正しい組合せはどれか。一つ選べ。

- ① 転換した占領政策のもとで自衛隊が発足した。
  - ② 占領政策の転換の背景には、朝鮮半島の分断と中国国民党の後退という東アジア情勢の変化があった。
  - ③ 経済安定化のために、ドッジ・ラインによって、インフレ収束がめざされた。
- ア ①—正 ②—正 ③—正      イ ①—正 ②—正 ③—誤      ウ ①—誤 ②—正 ③—誤  
エ ①—誤 ②—正 ③—正      オ ①—正 ②—誤 ③—正      カ ①—誤 ②—誤 ③—正

問11 下線部 g と同じ1980年代の事項はどれか。一つ選べ。

- ア 阪神・淡路大震災      イ バブル経済崩壊      ウ 日本によるPKO派遣  
エ ロッキード事件発覚      オ ゴルバチョフによるペレストロイカ

[以 下 余 白]

# 日本史

(記述解答用紙)

## 注 意

1. 受験番号(算用数字)・氏名は指示に従ってただちに所定欄に記入し、それ以外に記入してはならない。
2. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
3. 解答はHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで書くこと。
4. 試験終了時には、この解答用紙を裏返して机の上に置き、指示を待つこと。

〈2024 R 06180015 (日本史)〉

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

〈2024 R 06180015 (日本史)〉

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

## 採 点 欄

(この欄に書き入れてはならない)

I

問1	
問2	
問3	

I

I

II

問6	山
問7	

II

II

III

問1	制
問2	

III

III

IV

問1	
問2	

IV

IV

V

問1	
問2	
問6	

V

V